基礎領域研究

韓国語運用の基礎／応用（継続）

代表者 松田利彦

概要 研究その他の業務で韓国語を必要とするものに対し、会話、読解、聴解の習得を目指した授業を行う。

近世風俗未公刊資料解読（継続）

代表者 早川聞多

概要 センター所蔵の近世風俗資料の解読および変体仮名の解読演習を行う。

古文書研究（継続）

代表者 笠谷和比古

概要 前近代の草書文字で記された古文書や日記・記録などの読解を行う。

フランス語運用の基礎／応用（継続）

代表者 稲賀繁美

概要 フランス語の運用の基礎を実践的に訓練し、あわせて必要に応じて論文講読、仏文論文作成の手ほどきをする。

二〇一二年五月二七日

藤本孝一「貴族日記と紙背文書」

廣田浩治『政基公旅引付』をめぐる日記・文書・伝承の史料学―戦国期の在地社会と荘園領主―

カレル・フィアラ「古事記の本文と口頭伝承の名残を考える―古代文学の翻訳問題を中心に―」

〈第二回研究会〉

二〇一二年七月二一日

近藤好和「日記とは何か」

井上章一「ハリスとブロンホフの合間から見えること」

二〇一二年七月二二日

古藤真平『北院御室御日次記』治承四年十・十一月記について

磐下 徹「長和五年の藤原道長の『前例』」

有富純也「大饗における母屋と廂」

〈第三回研究会〉

二〇一二年九月一日

山寺、東北歴史資料館、多賀城碑・多賀城調査

二〇一二年九月二日

尿前の関、式内温泉神社、鳴子温泉、五大堂・松島調査

文化論の基礎概念と方法（継続）

代表者 鈴木貞美

概要 日本文化に関する国際的、学際的研究法の基本について、とりわけ、基礎概念および概念編成について研究を行う。

中国語運用の基礎／応用（継続）

代表者 郭 南燕

概要 研究その他の業務で中国語を必要とする人に対して、中国語運用の基礎を実践的に訓練し、会話、読解、聴解の習得を目的とする。

日本宗教史基礎研究（継続）

代表者 末木文美士

概要 日本宗教史に関する基礎的な問題に関して討議し、必要に応じて重要な文献の講読を行う。

宗教・文化の理論的研究（新規）

代表者 磯前順一

概要 日本内外における宗教および文化に関する最新の理論的研究を取り上げ、文体の問題から、理論と感情の問題に至るまで幅広く考察する。